



ペットボトルキャップが
どうやってワクチンに
換わるんだらう？

ペットボトルキャップ回収からワクチン寄付の流れ

① キャップを集める



② 回収・リサイクル業者が回収してリサイクル素材「ペレット」に加工



④ 売却益の一部がJCVに寄付される



③ リサイクル素材をメーカーに販売



寄付がワクチンに換わるまで

募金・寄付が
JCVに届く

支援国と相談し
支援物資を決定

N.Y.にあるユニ
セフ本部に送金し
て購入を依頼

世界中から最も適切
で安価なワクチンや
物資を手当てる

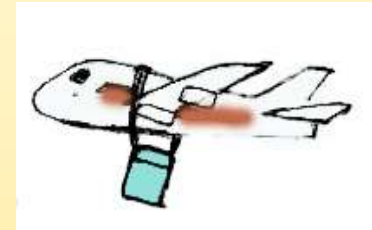


支援国現地

ワクチン
を
ありがとう!



支援国へ運ぶ



診療所や保健センターで
予防接種が行われる

現地の unicef や医療ス
タッフにより町や村へ

unicef に委託して、ワクチンを買って**現物**を現地へ!

ワクチン支援に必要なもの

- ◆ ワクチンは冷たい状態を保たなければ、効果がなくなってしまう!!

常に**2~8°C**に保つ!

- ◆ 「コールドチェーン」機器類も不可欠
生産した所から使う所まで決められた温度に保ったまま届けて、管理する方法や機材

- ◇ ワクチンを保管・運搬する保冷機材
冷蔵庫・冷凍庫、コールドボックス
ワクチンキャリア
ソーラー発電・保冷库、定電圧装置…etc
- ◇ その他
注射器・回収箱、温度計、オートバイ…etc



温度管理マーク

正しい温度なら「白」、周りの「紫」と同じように色が濃くなったら使えない!

現地でのワクチン支援

電力事情の悪い地域も多い



ソーラー発電式も大活躍

ワクチンを届ける保健師さん

バヌアツ共和国



最も遠い村まで
ワクチンキャリアを抱えて
歩いて5時間……

JCVの支援先国

緊急支援国

と

常時支援国



◆ 現在、「常時支援国」として
ミャンマー、ラオス、ブータン、
バヌアツの4カ国に継続的
にワクチン支援を実施

◆◆ 常時支援 ◆◆
毎年、途切れることなくワクチンを贈り続ける
“継続”することが何より重要

2023年 常時支援4カ国へ支援した実績

【拠出総額】 116,625,340 円 (前年 116,066,601 円)

【内訳】



ミャンマー 26,577,000 円 (前年 27,732,000 円)

ワクチン、注射器等、技術アシスタンス
少数民族の保健機関育成・接種実施



ラオス 36,174,398 円 (前年 32,862,420 円)

経口ポリオ 34万人、TD 45万人
B型肝炎 15.4万人、他追加分



ブータン 28,035,192 円 (前年 29,126,781 円)

経口ポリオ・DPT・TD・B型肝炎 各10万人BCG
20万人、MMR 5万人、注射器、温度計
コールドチェーンメンテナンス訓練、調査費

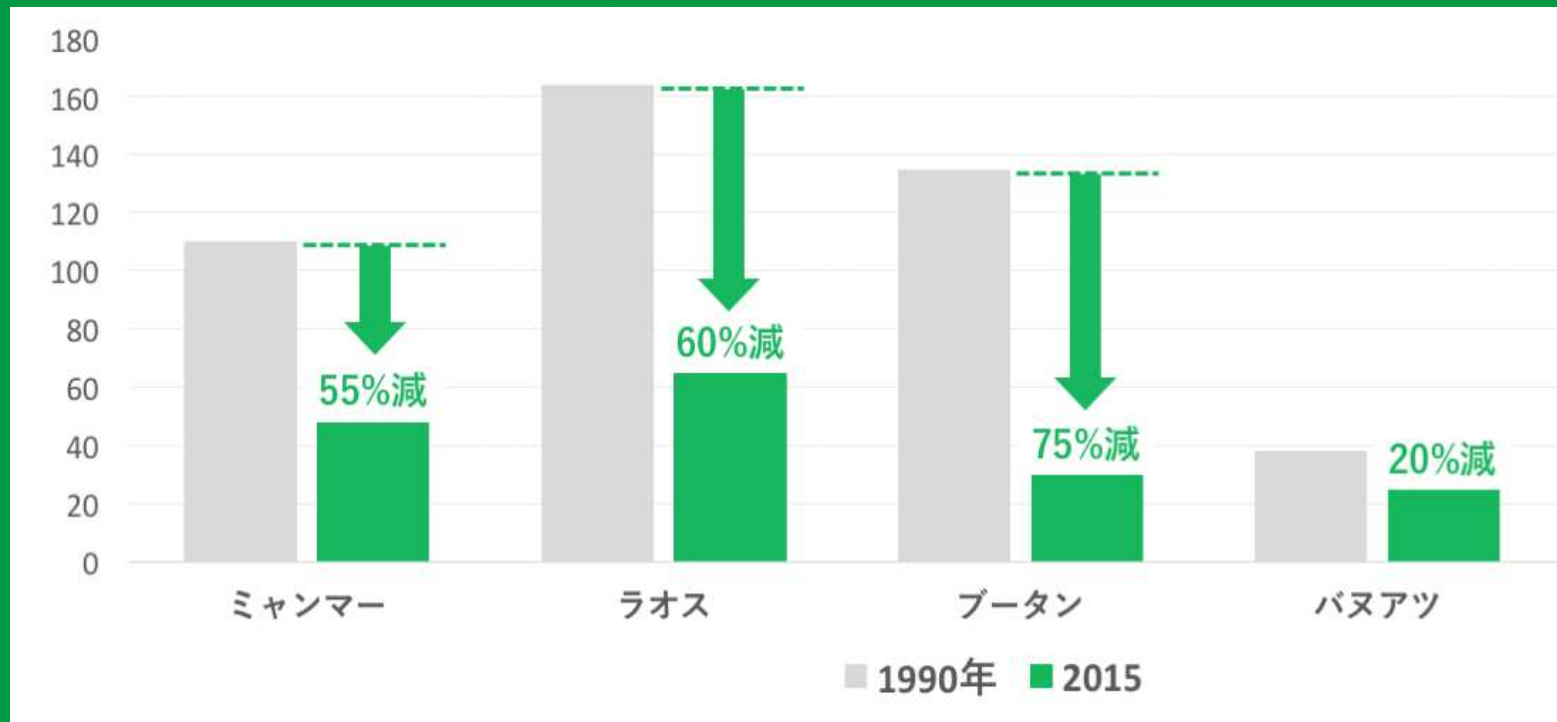


バヌアツ 25,838,750 円 (前年 26,345,400 円)

5価 3.8万人、MMR 5万人、注射器、
ソーラー保冷庫、輸送費、管理ツール

5歳まで生きられない子どもたちは 1日 8,000人から4,000人に半減!

出生1,000人当たりの死亡率



一人でも多くの子どもの命を救いたい!

(出典: UNICEF)



ワクチンを待つ 途上国の子ども達